

平成25年2月13日

プロジェクト報告書

団体名 武蔵野児童学園

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

職員資質向上のための研修

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

近年増加の一途にある児童虐待等の問題に関わる高度な実践力を有する指導者等の養成を目指して研修事業を行っている「子どもの虹情報研修センター」(日本虐待・思春期問題情報研修センター)等の各研修に参加して、職員のスキル向上に努めたい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

児童養護施設の職員にとって必要なスキルを身につけるための研修に参加してもらう。研修は講義だけでなく、事例検討、グループワーク、ロールプレー等を通して、自ら考え、発言する機会を持ち、人前で発表する体験を含めた研修に参加してもらう。

研修参加計画 会場:子どもの虹情報研修センター 他

- ① テーマ別研修(1泊2日) 1名
- ② 児童部会 中堅職員研修会(日帰り H24,5/21,6/18,7/9,H25,1/21) 1名
- ③ 児童部会従事者会運営員会宿泊型学習会(1泊2日)1名
- ④ 関東ブロック児童養護施設職員研修会(1泊2日)2名
- ⑤ 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会(1泊2日)1名
- ⑥ 小舎制養育研究会総会・研修会 第34回京都大会(1泊2日)1名
- ⑦ 児童部会 新任職員研修会(2泊3日、日帰り)1名
- ⑧ 日本子ども虐待防止学会第18回学術集会高知りょうま大会(2泊3日)1名
- ⑨ 児童福祉施設心理担当職員合同研修(2泊3日)1名

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

新任から中堅、そして専門性の高い研修に各職員がそれぞれのレベルにあった研修に参加し、現在の自分のおかれている状況を知ることができた。研修報告は知りえた知識を多くの職員に伝え共有することができた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

現在の支援は専門性の高いものが要求され、各職員が参加した研修は自分自身のレベルにあった研修であり、研修で得た知識は研修報告をして実際に現場で実践をしています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし